

# 全森建

第174号

令和6年8月

〒100-0014 東京都千代田区永田町2-14-2  
山王グランドビル3階

一般社団法人  
全国森林土木建設業協会

発行責任者 江坂文寿  
TEL.03-3581-3336  
FAX.03-3581-3341



令和6年度 定時総会



山藤会長挨拶

「全森建」では、6月12日(水)、東京都内の霞山会館「霞山の間」において、令和6年度定時総会を開催しました。

ご来賓として青山豊久林野庁長官をはじめ林野庁幹部の皆様、林業関係団体からは(一社)日本林業協会の津元頼光副会長、(一社)日本治山治水協会の津元頼光専務理事にご臨席いただきました。

菊池武副会長の開会の言葉により開会し、山藤浩一会長の挨拶、続

令和6年度  
「全森建」  
定時総会を開催



来賓祝辞  
津元頼光 (一社)日本林業協会副会長



来賓祝辞  
青山豊久 林野庁長官

いて青山林野庁長官、津元日本林業協会副会長にそれぞれご祝辞をいただきました。

その後、議事に移り、定時総会成立の宣言の後、定款に則り山藤会長を議長に選任し、上程された「令和5年度決算について」「令和6年度会費の賦課及び納入の方法について」「決議について」及び「役員選任について」の各議案について、それぞれ原案のとおり承認、決議されました。

また、先に開催された理事会で承認された「令和6年度事業計画及び収支予算」が報告されました。

更に、石川県森林土木協会の里



里谷光弘石川県森林土木協会会長

谷光弘会長からは、今年1月1日に発生した令和6年能登半島地震による現地の被災状況や復旧状況などについて報告がありました。

最後に梶村司副会長の閉会の言葉により、令和6年度定時総会を閉会しました。

会長の山藤です。令和6年度定時総会の開催にあたりまして一言ご挨拶を申し上げます。

まずは、さる5月27日に長年にわたり全森建の理事（平成19年度）及び副会長（令和元年度）としてご尽力いただきました山口県森林土木建設協会会長の秋山智洋（あきやま ともひろ）様が、また、6月5日には監事（平成25年度）としてご尽力いただきました（一社）山梨県建設業協会林務部会副部会長の野澤孝之（のざわ たかし）様がお亡くなりなされたとのこと、深く哀悼の意を表します。

本日は、総会開催についてご案

**会長挨拶**  
（一社）全国森林土木建設業協会会長  
**山藤浩一**

内しましたところ、会員の皆様には全国各地からご参集いただき、ありがとうございます。また、公務ご多用にもかかわらず、来賓として青山林野庁長官をはじめ林野庁幹部の皆様、津元日本林業協会副会長はじめ、関係団体の皆様にご臨席を賜り、誠にありがとうございます。

それから、先ほどの表彰式において栄えある賞を受賞された皆様には、日頃からのご尽力に深く敬意を表する次第です。

さて、昨年6月以降の大雨や台風、また、年明けの能登半島地震により、全国各地で尊い人命や貴重な財産が失われています。被災された皆様には心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復旧・復興を祈念いたします。

このような激甚な自然災害の多発を受けた「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」に基づく治山対策及び森林整備対策をはじめ、2050年カーボンニュートラルの実現に向けた森林吸収源対策や林業・木材産業の成長産業化等に係る基盤整備を含めた所要の予算として、令和5年度補正予算及び令和6年度当初予算を確保いただいたところです。

これらは林野庁のご尽力はもと

より、森林整備・治山事業促進議員連盟を中心とする関係国会議員の先生方による力強いご支援、また、各協会における関係者への働きかけの成果であり、あらためて御礼申し上げます。

私どもとしましては、今後、これら確保いただいた予算を活用し、各現場において事業をしつかり実施していくことが期待されています。一方、週休二日制の定着や時間外労働の上限規制への対応など、待ったなしの働き方改革のもと、事業の担い手を育成・確保しながら、安定的な企業経営及び工事の品質を確保していく必要があります。

このため、資材高騰や賃上げの状況下でも事業量が確保されるよう、令和7年度以降の林野公予算について増額・確保いただくとともに、厳しい施工条件下にある森林土木事業の実態に見合った設計・積算等を通じた適正な利潤が確保できる取組や、適正な工期の設定及び施工時期の平準化、また現場の生産性の向上等の取組について、さらに進めていただくことが重要と考えます。

私ども全森建といたしましても、これから総会で決議いただく要望書に基づき関係方面に要請活動

を行うなど、林野公予算の確保及び厳しい施工実態を反映した円滑な森林土木事業の推進に向けてさらに取り組んで参りますので、会員の皆様におかれましても、引き続きご支援・ご協力をいただきますようお願いいたします。

当協会としてこれらの活動を進めて行くにあたり、本日の定時総会におきまして、令和5年度決算や決議等の議案についてご審議をお願いしたいと存じます。

結びに、会員の皆様、ご来賓の皆様のご発展・ご健勝をお祈り申し上げます。定時総会にあたってのご挨拶とさせていただきます。

## 令和6年度 事業計画

### 1 基本方針

近年、地球温暖化の影響等による集中豪雨等の頻発に伴う山腹崩壊や土石流、流木、風倒木等により、多くの貴重な人命・財産が失われるなど甚大な被害が生じている。

また、森林資源の循環利用を通

じた林業・木材産業の成長産業化や2050年カーボンニュートラルの実現、花粉発生源対策の加速化等を図るため、主伐後の着実な再造林や間伐等の森林整備、国産材の安定供給等において基盤となる強靱で災害に強い林道等路網整備の一層の推進が急務となっている。

このため、引き続き「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」に基づく総合的な治山対策及び森林整備対策により、人命・財産の被害を防止・最小化するとともに、林業・木材産業の持続的発展等による地域の活性化等を図っていくため、これら施策の実現に必要な林野公事業予算の安定的・持続的な確保と拡充・強化が図られるよう、各都道府県協（議）会並びに林業関係団体等と連携しながら要請活動等を展開する。

さらに、当協会会員が、森林土木工事の品質確保等これら林野公事業の円滑な実施を通じて、引き続き地域の安全・安心や森林・林業の基盤整備の担い手及び地域の雇用の受皿として、働き方改革等にも対応しながら安定的に企業経営を継続していくためには、厳しい施工条件下でも適正な利潤及

び事業の担い手の確保がなされることが重要である。

このため、森林土木工事の現場実態を踏まえた適切な設計・積算や工期の設定、施工時期の平準化、I-Constructionの推進や2次製品の活用等生産性の向上等に向けて、林野庁、都道府県、関係団体等における取組とも連携しながら各種活動を進める。

### 2 活動計画

活動に当たっては、各協（議）会の厳しい運営状況も踏まえ、経費の節減と効率的な事業運営を図る。

#### (1) 定時総会

協会の活動方針等を決定するため、6月に東京都内で開催する。

#### (2) 正・副会長会議及び理事会

協会の円滑な運営に向けた活動方針等を討議するため、東京都内で原則2回（6月・1月）開催する。

#### (3) 常勤役員・事務局長等会議

協会活動の円滑な実施に向けた情報交換を図るため、原則として1月の正・副会長会議及び理事会の開催後に行う。

(4) 表彰

森林土木事業の発展、技術の向上、労働安全の確保等に功績のあった方々に対して、各協（議）会からの推薦に基づき、表彰候補者の審査、表彰行事の開催等を行う。

(5) 技術・労働委員会

森林土木事業の適切な施工及び工事の品質並びに適正な利潤の確保、働き方改革への対応を通じた担い手の確保等に資するよう、各ブロックから提示された設計・積算や歩掛等に関する改善要望事項についてとりまとめ、林野庁担当者との意見交換等により、これらへの対応を要請するとともに、林野庁の見解を整理いただいた上で、会員への情報提供を行う。

(6) 森林土木総合技術研修

会員の森林土木事業に係る技術の向上や労働安全の確保等を図るため、森林土木総合技術研修（森林分野のCPD及び土木施工管理分野のCPDS対象学習プログラム）として実施予定について、研修内容の充実を図りながら企画・実施する。

(7) 「全森建」福祉共済事業

「全森建」福祉共済事業については、平成7年の創設以来、労働災害時等の負担軽減等会員の福利厚生増進を図るため、その円滑な運営等に努めてきたところであるが、加入者の減少傾向が続いていることから、事業の安定的な維持を図っていくため、各協（議）会の協力も得ながら、加入促進等に努める。

(8) 広報・普及活動

① 会報は引き続き季刊（原則として5、8、10、1月）の発行とし、協会活動や森林土木事業に係る予算、設計・積算、技術向上等に関する情報、「地方協会だより」欄による各

(9) その他の活動

① 中央での各種会議やブロック会議、地方協（議）会の総会等に積極的に参加し、中央並びに地域の諸情勢の把握や情報交換等を行うことにより、各種施策への反映に努める。

② 関係行政機関との防災協定の締結、ボランティア活動等による地域社会の安全・安心等への貢献のあり方等について情報収集等を行うとともに、その普及を図る。

③ 森林土木事業に係る労働安全意識の向上や国民各層の森林土木事業への理解の醸成を図るため、労働安全ポスターの制作・配布等を行う。

④ ICT施工等新技術の活用による森林土木事業における生産性の向上等に係る情報収集及び普及活動に努める。

⑤ 協（議）会の活動状況など、各協（議）会活動に資する幅広い情報の提供を図る。

⑥ 予算、設計・積算、林野庁による各種調査、労働災害発生事例等災害防止に係る事項等について、メールにより迅速な情報提供を図る。

(9) その他の活動

① 中央での各種会議やブロック会議、地方協（議）会の総会等に積極的に参加し、中央並びに地域の諸情勢の把握や情報交換等を行うことにより、各種施策への反映に努める。

② 関係行政機関との防災協定の締結、ボランティア活動等による地域社会の安全・安心等への貢献のあり方等について情報収集等を行うとともに、その普及を図る。

③ 森林土木事業に係る労働安全意識の向上や国民各層の森林土木事業への理解の醸成を図るため、労働安全ポスターの制作・配布等を行う。

④ ICT施工等新技術の活用による森林土木事業における生産性の向上等に係る情報収集及び普及活動に努める。

令和6年度  
第1回正・副会長会議  
及び第2回理事会を  
開催  
定時総会に先立ち、6月12日午後2時から霞山会館「桃源の間」



第1回正・副会長会議



第2回理事会

において令和6年度第1回正・副会長会議を、引き続き午後3時から霞山会館「牡丹の間」において令和6年度第2回理事会をそれぞれ開催し、定時総会に付議する承認事項、報告事項等についての審議が行われ、全て原案どおり了承されました。

**新役員が選定される  
— 新副会長及び専務理事が交代 —**

定時総会閉会后、新役員による令和6年度第3回理事会を開催し、新たに副会長として岡山県森林土木建設協会会長の本多茂氏、専務理事として江坂文寿氏が選定されました（新役員については下表のとおり）。

その後、定時総会会場に留まっていたいただいた総会参加者の皆さんへ、新役員の報告が行われました。

なお、本年5月27日に前副会長の秋山智洋氏、6月5日に前監事の野澤孝之氏が逝去されました。長年のご尽力に感謝するとともに、謹んで哀悼の意を表します。

**(一社)全国森林土木建設業協会 新役員名簿**

令和6年6月12日

役職	氏名	所属協(議)会
会長	山藤浩一	群馬県森林土木建設協会
副会長	幌村司	(一社)北海道森林土木建設業協会
〃	高尾道明	(一社)富山県建設業協会 林務委員会
〃	西 覺 嗣	三重県森林土木建設協会
〃	本多茂	岡山県森林土木建設協会
〃	菊池武	熊本県森林土木建設協会
理事	紀室裕哉	岩手県森林土木建設協会
〃	石川俊幸	福島県森林土木建設業協会
〃	齊藤公志郎	埼玉県森林土木建設業協会
〃	上坂健一	東京都森林土木建設業協会
〃	鈴木秀城	(一社)新潟県建設業協会
〃	鳴海伸明	(一社)岐阜県建設業協会 林政部会
〃	海邊俊行	和歌山県林業土木振興協議会
〃	山根敏樹	鳥取県森林土木協会
〃	西野精晃	(一社)高知県森林土木協会
〃	牟田正明	佐賀県治山林道協会
〃	黒木繁人	宮崎県森林土木協会
〃	津元頼光	(一社)日本治山治水協会
専務理事	江坂文寿	(一社)全国森林土木建設業協会
監事	丹澤淳人	(一社)山梨県建設業協会 林務部会
〃	里谷光弘	石川県森林土木協会
〃	植崎茂	税理士

令和 6 年度  
「全森建」表彰式を  
挙行

定時総会に先立ち、令和 6 年度「全森建」表彰式を執り行いました。永年にわたり森林土木事業の発展等に功績のあった方々、労働安全の確保等に功績のあった団体や事業場、個人に対し、山藤会長から全森建会長表彰状が授与されました。当日、ご都合により表彰式に出席できなかった方々を含め、受賞された皆様は次のとおりです。



受賞者（青山長官、山藤会長を囲んで）

I 全森建会長表彰受賞者		
氏名	所属協（議）会	
五十嵐 久廣	山形県森林土木建設業協会	
石川 裕之	栃木県森林土木建設業協会	
水倉 直人	(二社)新潟県建設業協会 農地農林委員会	
平田 謙太郎	岡山県森林土木建設協会	
原 一博	福岡県森林土木建設業協会	
福島 美津子	福岡県森林土木建設業協会	
森永 房代	熊本県森林土木建設協会	
II 全森建会長表彰受賞者（労働安全部門）		
1 団体の部		
団体名	代表者氏名	所属協（議）会
株式会社 新井土木	代表取締役 新井 正則	群馬県森林土木建設協会
有限会社 西森組	代表取締役 西森 規夫	徳島県治山林道協会
2 事業場の部		
事業場名	代表者氏名	所属協（議）会
津柳地区復旧治山工事	有限会社 田口建設 代表取締役 田口太恵子	長崎県森林土木建設業協会
3 個人の部		
氏名	勤務先・職名等	所属協（議）会
荒木 和幸	林建設株式会社 専務取締役	山形県森林土木建設業協会
古屋 亨弥	株式会社丸一土建 代表取締役社長	(二社)山梨県建設業協会林務部会

## 意見交換会の開催

定時総会の閉会後に霞山会館「霞山の間」において意見交換会を開催したところ、多くの国会議員の先生方や林野庁幹部の皆様にかけていただきたき、盛大で華やかな会となりました。

## 林野庁、関係国会議員に要望書を提出

定時総会の翌日の6月13日(木)、山藤会長は林野庁長官をはじめ林野庁の幹部及び関係国会議員の事務所を訪問し、定時総会において決議された要望書を手交のうえ要望活動を行いました。

## ◎ 要望書

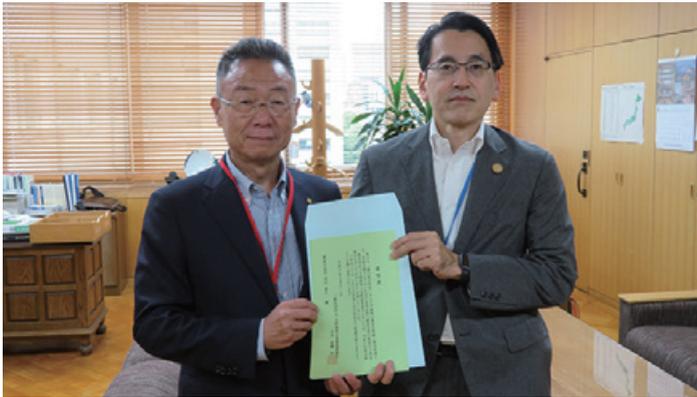
私ども、「緑の社会資本」としての森林の適切な整備・保全を通じて、持続可能でより良い社会の実

現を担う建設企業の集まりである一般社団法人全国森林土木建設業協会においては、令和六年度定時総会において次のとおり決議いたしました。

つきましては、これらの実現に向け特段のご配慮を賜りますよう、ここに強く要望いたします。

令和六年六月十二日  
一般社団法人

全国森林土木建設業協会  
会長 山藤浩一



山藤会長による青山林野庁長官への要望

## 決議

森林の有する多面的機能は国民生活に様々な恩恵をもたらすとともに、国際社会共通の目標であるSDGs（持続可能な開発目標）の達成にも大きく貢献している。そのような中で、気候変動の影響により激甚化・頻発化する気象災害や切迫する大規模地震等の発生を見据えた森林の防災・保水機能の高度発揮による「緑の国土強靱化」や、2050年カーボンニュートラルを見据えたグリーン成長の実現に向けた森林吸収源対策及び花粉発生源対策としての計画的な間伐、主伐後の再造林等の森林整備及び森林資源の循環利用や林業・木材産業の成長産業化に向けた木材の安定供給が喫緊の課題となっている。

このため、令和5年度補正予算及び令和6年度当初予算においても「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」等に基づく治山対策及び路網整備を含めた森林整備対策をはじめ、森林吸収源対策、林業・木材産業の成長産業化等に係る基盤整備を含めた所要の予算を確保いただいたところである。

一方、森林の多面的機能の持続的な発揮を図っていくためには、これら所要の予算を増額、確保いただくとともに、これらの事業をそれぞれの地域で支える建設企業の安定的な経営及び担い手の確保並びにこれらを通じた森林土木工事の品質確保が図られる必要がある。

ついては、これらの課題に対応するため、左記に示す事項の実現を強く要望する。

### 記

一、大雨や短時間強雨の発生頻度の増加、大規模地震等による山地災害の激甚化・頻発化に対応した流域治水とも連携した治山対策、国産材の供給体制の強化等に対応した強靱で災害に強い幹線林道等路網の整備に必要な令和七年度当初予算等の安定的な確保

二、梅雨前線や台風に伴う豪雨災害等による山腹崩壊、土石流、流木等被害や林道被害等の早期復旧に必要な災害復旧関係予算の確保

三、急峻で狭隘、遠隔地といった厳しい施工条件下にある森林土木事業の実態や賃上げ・資材価格の高騰など最新の実勢価格を反映した設計・積算、標準歩掛の適用が困難な場合の見積りによる積算、着工後の施工実態を踏まえた柔軟な設計変更等を通じた適正な利潤の確保に向けた取組の強化

四、本年度から義務化された時間外労働の上限規制への対応、週休二日の実現等働き方改革を着実に進めるための施工条件等に応じた適正な工期の設定及び早期発注や国庫債務負担行為、余裕期間制度の積極的な活用等による施工時期の平準化、プレキャスト製品の活用など省力化・安全施工につながる工法や中・小規模工事への i-Construction の導入促進等生産性向上に向けた取組の強化

五、地方自治体等との災害防止協定の締結等による地域の安全・安心を支える建設企業としての山地防災パトロール等の地域貢献活動、技術者・技

能者の知識・技術・技能の向上を促進するための継続教育に係る取組等の総合評価落札方式等入札における適切な評価

六、地域社会を担う多様な人材の確保及び地域における魅力ある就業機会の創出の一環として、森林土木事業における週休二日制や育児休暇の定着等による若者等の就業を促進する環境の整備

七、リスクアセスメントの普及定着等による転落・墜落等重大災害の撲滅、緊急時等の山間部での通信手段の確保、熱中症対策を含めた安全衛生経費や安全で円滑な工事施工のための仮設経費等の適切な積算、休日等が確保された適切な工期の設定等による建設工事従事者の安全及び健康の確保並びに福祉の向上

右決議する

令和六年六月十二日  
一般社団法人

全国森林土木建設業協会

## 「森林整備・治山事業促進議員連盟」の総会が開催

5月30日（木）、衆議院第一議員会館多目的ホールにおいて、山口俊一議連会長をはじめとする国会議員42名（代理出席を含め約90名）のご出席のもと、森林整備・治山事業促進議員連盟の総会が開催されました。

山口議連会長の挨拶の後、舞立昇治農林水産大臣政務官からの激励の言葉がありました。全森建は



山口会長による挨拶

か関係団体に対し発言を求められ、山藤会長からは「今後とも地域の安全・安心の担い手、また、雇用の受け皿としての役割を担っていくため、適正な利潤が確保され将来に向けて企業経営が見通せるような十分な予算の増額・確保に向けて、引き続き強力な支援をお願いしたい」旨の要請を行いました。

次に、林野庁の長崎屋圭太森林整備部長から、「森林整備事業・治山事業の推進について」と題して、令和6年度林野公共予算の概要や令和7年度予算編成に向けた林政の重要課題等について説明が行われました。併せて、「選ばれる森林土木に向けて」と題して、全森建の技術・労働委員会での取り上げら



舞立政務官による挨拶

れた改善要望事項と関連する内容を  
を含め、共通仮設費率に独自補正  
を追加したことなど、森林土木工  
事の円滑な発注や施工体制の確保  
に向けた積算等の改善に関する取  
組が説明されました

その後、出席した国会議員の先  
生方による活発な意見交換が行わ  
れ、最後に次の項目からなる「令  
和7年度林野公共事業予算に関す  
る決議」が満場一致で採択されま  
した。

・ 能登半島地震や近年の豪雨  
等による被害を受けた荒廃山  
地の復旧対策を着実に進める



山藤会長による要請

とともに、事前防災・減災対  
策を含め、山地災害で得られ  
た教訓等を踏まえた治山対策  
を強力に進めるため、治山事  
業予算の拡充を図ること。

・ 森林資源の循環利用を確立  
し、花粉症に関する関係閣僚  
会議において策定された「花  
粉症対策初期集中対応パッケ  
ージ」の加速化にも資するよ  
う、強靱で災害に強い林道の  
整備、主伐後の確実な再造林  
や間伐等を強力に推進するた  
め、森林整備事業予算の拡充  
を図ること。



決議に向けた議論の様子

・ 災害から国民の生命と財産  
を守っていくため、「防災・減  
災、国土強靱化のための5か  
年加速化対策」に基づく森林  
整備・治山対策の加速化・深  
化を図っていく必要があるこ  
とから、引き続き所要の予算  
を別枠で確実に確保すること。  
また、「5か年加速化対策」に  
続く「国土強靱化実施中期計  
画」を令和6年内の早期に策  
定し、資材高騰や人件費増に  
対応した十分な予算を確保し  
た上で、森林整備・治山対策  
を切れ目なく計画的かつ着実  
に推進すること。

・ 大規模災害が発生した際の  
体制強化や現場での予防・復  
旧対策の確実な実施等のため、  
森林管理局等における現場技  
術を有する人材の育成・確保  
を図ること。また、施工条件  
の特性等を踏まえた歩掛の見  
直しや適正な工期の設定など、  
林野公共事業の円滑な実施に  
向けた取組を推進すること。

・ 林野公共事業の推進を通じ  
た山村地域の振興を図ると  
ともに、機械、資源情報など生  
産基盤の確保、人材育成など

担い手の確保、若者・高齢者  
等にも働きやすく、安全で魅  
力ある産業となるためのスマ  
ート林業の展開を推進するこ  
と。

・ 森林環境譲与税は、森林整  
備を一層推進するため、令和  
6年度から私有人工林面積の  
譲与割合を10分の5から10  
0分の55に見直されたところ  
であるが、自然的・社会的条  
件が不利な森林の整備を推進  
するという新たな需要に対応  
するものであることから、既  
存の財源の代替とならないよ  
うにするとともに、引き続き、  
林野公共事業予算がめり込む  
ことのないようにすること。

総会終了後の6月13日(木)に  
は、山口議連会長をはじめ多くの  
先生方が財務省を訪れ、鈴木俊一  
財務大臣に対して決議文を手交し、  
林野公共事業予算の安定的な確保  
等に向けた要望活動が行われまし  
た。全森建としましても、今後と  
も関係団体と連携し、議連の先生  
方のご支援をいただきながら、令  
和7年度予算等の確保に向けてさ  
らに取り組んでまいります。

## 林野庁幹部人事異動

令和 6 年 7 月 5 日付で、次のとおり異動がありました。

◇林野庁林政部長

清水 浩太

(大臣官房環境バイオマス政策課長)

◇林野庁国有林野部長

眞城 英一

(林野庁国有林野部経営企画課長)

◇関東森林管理局長

松村 孝典

(大臣官房付)

◇近畿中国森林管理局長

高橋 和宏

(大臣官房付)

◇九州森林管理局長

橘 政行

(林野庁国有林野部長)

◇林野庁林政部長

小島 裕章

(輸出・国際局国際経済課長)

◇林野庁林政部長

谷口 正範

(厚生労働省参事官)

◇林野庁林政部長

福田 淳

(林野庁森林整備部森林利用課長)

◇林野庁森林整備部森林利用課長

石井 洋

(林野庁森林整備部整備課)

造林間伐対策室長)

◇林野庁国有林野部経営企画課長

石田 良行

(林野庁林政部木材産業課長)

◇野庁林政部木材利用課木材貿易

対策室長

高畑 啓一

(森林研究・整備機構)

森林総合研究所主任研究員)

◇林野庁森林整備部整備課造林間

伐対策室長

天田 慎一

(林野庁森林整備部)

計画課総括課長補佐)

## これからの主な行事予定

令和 6 年

○ 9 月 4 日(水)・5 日(木)

森林土木総合技術研修

(東京都・港区)

○ 10 月 23 日(水)

北海道・東北ブロック会議

(青森県・青森市)

○ 10 月 24 日(木)

中部ブロック会議

(石川県・金沢市)

○ 10 月 31 日(木)

関東甲信ブロック会議

(山梨県・山梨市)

○ 11 月 7 日(木)

九州ブロック会議

(佐賀県・佐賀市)

○ 11 月 12 日(火)

技術・労働委員会

(東京都・千代田区)

○ 11 月 20 日(水)

2024 治山・林道のつどい

(東京都・千代田区)

○ 11 月 28 日(木)

中・四国ブロック会議

(広島県・広島市)

令和 7 年

○ 1 月 27 日(月)

令和 6 年度第 2 回正・副会長会

議、第 4 回理事会、常勤役員・

事務局長等会

(東京都・千代田区)

## 事務所移転のお知らせ

「全森建」事務所は、それまで入居していた永田町ビルの建て替え工事のため、7 月 1 日に次の住所へ移転しました。なお、電話番号とファックス番号は変わりません。

〒100-00014 東京都千

代田区永田町 2-14-2 山王グ

ランドビル 3 階

## 編集後記

専務理事の交代に伴い、発行責任者が江坂文寿となりました。会員の皆様にとって有意義な情報を多く盛り込みたいと考えていますので、「地方協会だより」コーナーの原稿や会報の表紙写真などのご提供について、皆様のご協力をお願いいたします。